



岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和 6 年 3 月 27 日

岡山県市町村総合事務組合管理者 山崎 親男

## 岡山県市町村総合事務組合条例第 1 号

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の一部を改正する条例

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例（平成 17 年岡山県市町村総合事務組合条例第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 120 条第 2 項第 1 号の表団長及び副団長の項中「12,440 円」を「12,500 円」に、「13,320 円」を「13,350 円」に改め、同表分団長及び副分団長の項中「10,670 円」を「10,800 円」に、「11,550 円」を「11,650 円」に、「12,440 円」を「12,500 円」に改め、同表部長、班長及び団員の項中「8,900 円」を「9,100 円」に、「9,790 円」を「9,950 円」に、「10,670 円」を「10,800 円」に改め、同項第 4 号中「8,900 円」を「9,100 円」に改める。

### 附 則

- 1 この条例は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この条例による改正後の岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例第 120 条第 2 項の規定は、この条例の施行の日以後に支給すべき事由の生じた岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例第 120 条第 1 項に規定する損害補償（以下「損害補償」という。）並びに同日前に支給すべき事由の生じた同日以後の期間に係る同条例第 119 条第 3 号に規定する傷病補償年金、同条第 4 号アに規定する障害補償年金及び同条第 6 号アに規定する遺族補償年金（以下「傷病補償年金等」という。）について適用し、同日前に支給すべき事由の生じた損害補償（傷病補償年金等を除く。）及び同日前に支給すべき事由の生じた同日前の期間に係る傷病補償年金等については、なお従前の例による。

## 岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の新旧対照表

新	旧																																						
<p>(補償基礎額)</p> <p><b>第 120 条 略</b></p> <p>2 前項の補償基礎額は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 非常勤消防団員が公務により死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は公務による負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、死亡若しくは負傷の原因である事故が発生した日又は診断により死亡の原因である疾病の発生が確定した日若しくは診断により疾病の発生が確定した日(以下「事故発生日」という。)において当該非常勤消防団員が属していた階級及び当該階級に任命された日からの勤務年数に応じて次の表に定める額とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">階 級</th><th colspan="3">勤 務 年 数</th></tr><tr><th>10 年未満</th><th>10 年以上 20 年未満</th><th>20 年以上</th></tr><tr><td>団長及び副団長</td><td>円 <u>12,500</u></td><td>円 <u>13,350</u></td><td>円 14,200</td></tr><tr><td>分団長及び副分団長</td><td><u>10,800</u></td><td><u>11,650</u></td><td><u>12,500</u></td></tr><tr><td>部長、班長及び団員</td><td><u>9,100</u></td><td><u>9,950</u></td><td><u>10,800</u></td></tr></table> <p>(2)・(3) 略</p> <p>(4) 消防作業従事者、救急業務協力者若しくは水防従事者又は応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し又は応急措置の業務に従事したことにより死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、<u>9,100 円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、14,200 円を超えない範囲内においてこれを増額した額とすることができる。</p> <p>3・4 略</p>	階 級	勤 務 年 数			10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	団長及び副団長	円 <u>12,500</u>	円 <u>13,350</u>	円 14,200	分団長及び副分団長	<u>10,800</u>	<u>11,650</u>	<u>12,500</u>	部長、班長及び団員	<u>9,100</u>	<u>9,950</u>	<u>10,800</u>	<p>(補償基礎額)</p> <p><b>第 120 条 略</b></p> <p>2 前項の補償基礎額は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 非常勤消防団員が公務により死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は公務による負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、死亡若しくは負傷の原因である事故が発生した日又は診断により死亡の原因である疾病の発生が確定した日若しくは診断により疾病の発生が確定した日(以下「事故発生日」という。)において当該非常勤消防団員が属していた階級及び当該階級に任命された日からの勤務年数に応じて次の表に定める額とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">階 級</th><th colspan="3">勤 務 年 数</th></tr><tr><th>10 年未満</th><th>10 年以上 20 年未満</th><th>20 年以上</th></tr><tr><td>団長及び副団長</td><td>円 <u>12,440</u></td><td>円 <u>13,320</u></td><td>円 14,200</td></tr><tr><td>分団長及び副分団長</td><td><u>10,670</u></td><td><u>11,550</u></td><td><u>12,440</u></td></tr><tr><td>部長、班長及び団員</td><td><u>8,900</u></td><td><u>9,790</u></td><td><u>10,670</u></td></tr></table> <p>(2)・(3) 略</p> <p>(4) 消防作業従事者、救急業務協力者若しくは水防従事者又は応急措置従事者（以下「消防作業従事者等」という。）が消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し又は応急措置の業務に従事したことにより死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによる負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは障害の状態となった場合には、<u>8,900 円</u>とする。ただし、その額が、その者の通常得ている収入の日額に比して公正を欠くと認められるときは、14,200 円を超えない範囲内においてこれを増額した額とすることができる。</p> <p>3・4 略</p>	階 級	勤 務 年 数			10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	団長及び副団長	円 <u>12,440</u>	円 <u>13,320</u>	円 14,200	分団長及び副分団長	<u>10,670</u>	<u>11,550</u>	<u>12,440</u>	部長、班長及び団員	<u>8,900</u>	<u>9,790</u>	<u>10,670</u>
階 級		勤 務 年 数																																					
	10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上																																				
団長及び副団長	円 <u>12,500</u>	円 <u>13,350</u>	円 14,200																																				
分団長及び副分団長	<u>10,800</u>	<u>11,650</u>	<u>12,500</u>																																				
部長、班長及び団員	<u>9,100</u>	<u>9,950</u>	<u>10,800</u>																																				
階 級	勤 務 年 数																																						
	10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上																																				
団長及び副団長	円 <u>12,440</u>	円 <u>13,320</u>	円 14,200																																				
分団長及び副分団長	<u>10,670</u>	<u>11,550</u>	<u>12,440</u>																																				
部長、班長及び団員	<u>8,900</u>	<u>9,790</u>	<u>10,670</u>																																				

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の一部を改正する  
条例（令和 6 年岡山県市町村総合事務組合条例第 1 号）【概要】

1 改正の理由

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令（令和 6 年政令第 28 号）の施行に伴い、非常勤消防団員及び消防作業従事者等の補償基礎額の改定を行ったもの。

2 改正の内容

（1）非常勤消防団員の補償基礎額について（条例第 120 条第 2 項第 1 号関係）

非常勤消防団員に係る補償基礎額を次のとおり改定した。 ※（ ）内は改正前

階 級	勤 務 年 数		
	10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上
団長及び副団長	<u>12,500 円(12,440 円)</u>	<u>13,350 円(13,320 円)</u>	14,200 円(14,200 円)
分団長及び副分団長	<u>10,800 円(10,670 円)</u>	<u>11,650 円(11,550 円)</u>	<u>12,500 円(12,440 円)</u>
部長、班長及び団員	<u>9,100 円 (8,900 円)</u>	<u>9,950 円(9,790 円)</u>	<u>10,800 円(10,670 円)</u>

（2）消防作業従事者等の補償基礎額について（条例第 120 条第 2 項第 4 号関係）

消防作業従事者等の損害補償に係る補償基礎額の最低額を 9,100 円に改定した。

3 施行日 令和 6 年 4 月 1 日